

刊夕 日一卅月五

# 常報日新聞

定額一圓五角 月刊五拾拾郵費五拾  
 廣告料五號十二字第一行金五拾  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常報日新聞社  
 編輯所 常報日新聞社  
 印刷所 常報日新聞社

## 歯を丈夫に保つ法

原 清 一

健康に優る幸福なし、といふことは、今更申すまでもないことであるが、健康は決して一朝一夕に得らるゝものでなく、然も一寸した油断と一寸とした不注意が、忽ちにしてこれを奪ひ去るものであります。殊に歯の健康は不斷的注意が大切で歯の悪いために肉體の上にも精神の上にも想像以上に傷ましい打撃を與へてゐることは、誠に恐ろしい事實であります。

一 大切な乳歯

妊娠中の婦人は、やがて生れてくる赤ちやんの良い歯をつくるために、必要な食物即ちカルシウムやビタミンに富んだものを撮ることを忘れてはなりません。

乳を飲ませた後は、柔らかいガーゼに硼酸水をして歯茎、舌、頬の内側などを拭いて口の中に乳滓が残つてゐないやうにして下さい。

乳歯は生後七ヶ月から生えはじめて、三歳位までに上下二十枚の歯が生え揃えます。これからの歯は發育盛りの子供の咀嚼器官として殆んど一生を支配するものであつて、この時代に乳歯が丈夫で咀嚼が完全であ

るならば、病氣に罹るやうなことも少ないのであります。それで三歳位から歯ブラシを便う習慣をつけて下さい。

世間には往々乳歯は脱げかほるのだからムシバになつてもさしつかへないと思つてゐる人がありますが、これは大變な誤りで乳歯は永久歯の案内役で、ムシバなどで早くぬけたときは歯並が不正となります。下から永久歯の生えるまでは大切に保存することが肝要です。

二 小學生時代

満六歳頃に乳歯の奥に生えて来る永久歯が所謂六歳臼歯で、アゴの中央にあつて最も大きな歯であります。この歯は上下合せて四枚あつて、子供の發育中最も重要な時期を殆んど一手に引き受けて食物咀嚼の役目をいたします。ところが早く生えるためには、往々乳歯と間違ふられて注意を怠りムシバになることが甚だ多いのです。

この歯の生えて来る位置は大體一定してゐるので、次に生えて来る歯はこの歯を標準として生えますから若しこの歯を早期に抜くときは歯並が亂れて咬み合せが悪くなつたり、出づ歯などになります。それでこの

歯は特に大切に保護をして下さい。

歯乳は或る時期が来れば歯根の尖端から自然に溶かされてなくなり、歯冠もポロリとぬけ落ちてそのあとへ永久歯が生えるのです。ところがムシバになつて歯髓が死んだり、歯根膜がこぼれたりすると、自然にぬけるはたらくがなくなりいつまでも元の位置に残つてゐますから、そこに生えるべき永久歯の場所をよさいでゐるので、その外側に

出たり、内側に出たりして

亂抗歯となります。こういう悪い歯は適當な時期に抜く必要があります。

歯並が悪いと容貌の美を害ひ、又咬み合せが悪くな

りますから食物の咀嚼が十分に出来ないばかりでなく

歯ブラシを使つても掃除が完全に出来ないのでムシバに罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

に罹り易くなります。それ

## 市原醫院

平町 田町  
電話一四四番

でこれを豫防し矯正することとは極めて大切なことである。一般に矯正をするのに最も良い時期は八歳から十二、三歳までとせられてをります。

## 特選 五月人形大賣出し

日嗣の皇子の御誕生を仰ぎ一層お芽出度い端午のお節句に特選の武者人形を始め古代變り人形、内職其他お道具類一式華かに陳列致しました、是非御来店を御待ちして居ります。

平町本通り三丁目  
花生問屋

## 叶星 加藤商店

一丁目フクダヤの

## 五月人形鯉のぼり 大賣出し

かしこくも 皇太子殿下と初節句を同じふする光榮此の上なき御子供様を祝福しておなじみのフクダヤは奉仕の大勉強いたします

武者人形 八〇分 鯉のぼり一、五〇分  
具足飾 二、五〇分 御座敷飾セツト 六圓より百五十圓迄

## 漆器の御用は皆様の丸共へ御用命下さい……

卸賣特に御務め勉強致します。

景品賞品類  
進物贈答品  
恩賜賞品  
記念表彰品  
各産産漆器

共榮漆器店  
平町三丁目北裏通

## 店員募集

本年尋卒 仕着 小使月三圓  
同高小卒 仕着 小使月五圓  
外交員十八九才より三十才迄

## 耳鼻咽喉科専門

## 鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前  
入院の需めに應ず  
自炊の便あり

## 新車御披露

三四年型デラックスセダンが  
入荷致しました  
貸切の御用命の節は  
電話六八五番へ……  
是非御試乗の程を願ひます

## 三井多クシー

電話六八五番

## 美しい花の種子



巨大輪七寸咲朝顔が参りました  
毎度御好評をいただき居ます  
横濱植木會社の輸出向特撰種子  
です「草花種子の蒔き方」差上  
ます

西村屋藥局種子部  
平 2 電 3



## 旭硝子株式會社製品 板ガラス

赤菱印  
菓 子 壘  
硝 子 食 器  
其他各種

## 松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)  
◇支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

## 耳鼻咽喉科専門

## 山内醫院

醫學士 山内亨吉  
平町田町七〇番地  
電話六九一

# 舗装區域短縮

## 一丁目から三丁目迄

### 工費減額を理由として

平町の本町通り國道舗装工事は過般平町側と小林平土木監督所長と會見種々協議の結果

**工費が** 減額された以上少い工費では到底完全な舗装を期し難いと本年度は第一期工事として一丁目より三丁目迄の舗装に止む旨の意見有力となり結局

一丁目から三丁目迄の國道を完成する事に決定したが着工は、六月下旬である爲め二十日までに平土木監督所の指揮で工事に支障を來す紺屋町、一丁目、二丁目、三丁目地内の簡易水道管等の地下埋設物を地表より一米以上の深さに埋設する事になつた

# 國寶的英雄

## 東郷元師の死を

### 悼んで弔電

國寶的英雄として日本全國民から崇拜的となつてゐた東郷元帥の薨去の報傳るや全國民の哀悼限りなく日本全國憂愁の極に鎖されてゐるが平町及び平町國防研究会ではけふ取り敢へず故元帥の嗣子彪氏に對し町長青沼鋒太郎氏の名を以つて左記弔電を呈した

元帥海軍大將侯爵東郷平八郎閣下の薨去を哀悼し痛惜極まりなし謹みて敬弔の誠意を捧げまつる

平國防研究会長  
福島縣平町長 青沼鋒太郎

# 電話敷設の

## 當籤者決定

既報過般平郵便局で募集した本年度特別加入電話の申込みは定員四名の處に七名

の申込みがあつたので此程

抽籤を行つた結果當籤左記の如く決定したが取付工事は料金納付次第來月早々着

# 各小學校

## 公開教授

### 十三、四の兩日に

#### 受持訓導が研究發表

平町市内三小學校では聯合して來月十三、四の兩日公開教授を行つて一般希望者の參觀を歓迎する筈であるが當日は各受持訓導が研究發表を行ふと

第一父兄招待 平第一小學校では來月廿二、廿三の兩日兒童の父兄を招待して午前中は教授の參觀午後には擔任教員と父兄間との懇親會を開くと

# 徒弟を懐ふ

## 親方の温情

### 拐帶逃走した

#### 二名を引取る

平町材木町鐵工業吉野健助氏方徒弟吉田要三郎(二)馬孝一(三)の兩名は去る三月中同家の金庫から七十一圓を窃取逃走したが二十八日埼玉縣川口署に逮捕された兩名の身許照會に接した吉野氏は昨川口署に出頭

將來ある若い二人が百圓足らずの金で世を暗く歩まねばならぬやうな事は私として好ましくない今後は是非とも私が兩名を引取り感化薰陶致しますから何卒寛大な御處分をとて同署司法主任に懇願し

# 鯉漁九千尾

## 磐城丸の大漁

本縣水産試験場指導船磐城丸及び江名濱盛厚丸の兩船は目下千葉縣野島岬東南方二百三十海里(海温二十度八)の海上で鯉漁の真最中で

(磐城丸) 鯉四千尾、びん長一十尾、  
(盛厚丸) 鯉五千尾、びん長一十尾

の大漁を見引續き漁獲に従事して後静岡縣三島港に廻港水揚げをする旨昨三十日

磐城丸から小名濱水産試験場に無電報告あつたが鯉不漁の折柄水揚げ相場は相當高値を稱へらるべく期待されてゐる

# 一人當り十箇宛の

## 玉石を運んで奉仕

### 平第一校の奉安庫清掃

平第一小學校では明一日に五年以上の生徒が好間村上好間の隅田川河畔より玉石を一人十箇宛持つて歸校し御眞影奉安庫を清掃の上玉石を敷詰めると

が終つて洗面所に行く何から何まで規律統制を旨として居る七時半より中隊教練が週番士官指揮のもとに行はれた其を見學し徹底的な訓練に驚かされた見學後兵營前の追廻練兵場に於いて駒場教官指揮のもとに中隊教練を行つた訓練後直ちに入浴し午後所屬中隊幹部の援助を受けて狹窄射擊教育を實施す夕食後待ちに待つた外出は許された九時迄に大橋に集る事を約して友は皆三々五々連れ立つて市街に流れ出た八木山南公園で最近の遊枝物を乗廻した市街は仁丹マツダラン等の

耳鼻咽喉科専門  
大和田醫院

平町南一丁目  
電話 七〇一

花柳外科科専門  
木村外科醫院

平町六丁目  
電話 三九〇

ネオンライトが輝きカフェ一よりのジャズソングはいやが上にも僕等の耳をついた三越支店を見て東一番丁多門通り大町を見物し約束通り九時迄に歸營す

# 飛降り損ねて惨死

## 疾走中の自動車から帽子を追つて冥土へ行く

赤井村大字鹽田字江田炭焼人夫松本哲雄(三)は三十一日午前八時頃平町紺屋町三高木真道(三)の運轉する平町町九大運送店の貨物自動車に木炭を満載し下小川より磐城炭礦に赴く爲め自動車の外側にぶらさがり平窪村中平窪字横根地内を疾走中帽子を吹き飛ばされたのを追つて飛び降りた瞬間身體が崩れて轉倒頭部を粉砕無惨の即死を遂げた

# 線路で遊び

## 刎飛されて重傷

湯本町天王崎品川白練瓦職工末吉三男當地喜四郎(二)は自宅附近の磐城海岸軌道の線路で遊戯中後方から疾走して来たガソリンカーに刎飛ばされ頭部其他に全治三ヶ月を要する瀕死の重傷を負つた

# 横合ひから飛出し

## 少年大怪俄を負ふ

二十九日午後七時頃小名濱町字橋本二二運轉手井上吉次(三)が貨物自動車に鮮魚を満載して田町魚市場より泉村に向ふ爲め小名濱町定西地内を運轉中突然横合ひから走り出て来た同字三五居住大橋秋喜(二)を避けんとして運轉を誤り同人の後頭部に全治三週間の傷害を與へ尙高木せん方の家根廂その他を破壊した

# 青年團則改正

平町青年團では来る六月六日午後五時よりマルトモホール

# 青年幹部

## 三日に協議

平町青年團にては六月三日午後七時よりマルトモホールにて幹部會を開會左記を協議する  
一、郡評議員正副員選定の件  
一、修養部、体育部、兩部長及理事選定の件

# 自轉車ぐるみ

## 漆器類を盗む

### そば屋に立寄り捕る

小名濱字後場無職盜窃前科一犯崎山庄太郎(三)は去る二十七日午後一時頃湯本町築地内道路にあつた平町三丁目漆器商横幕仁三郎方徒弟磯部幸一所有の自轉車に積んだ漆器十三点價格四十圓を窃取の自轉車で逃走したが昨三十日泉村富士そば屋に立寄つた處を平署駐在所員に逮捕された

# 監督局が

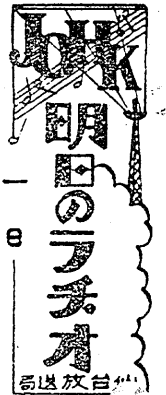
## 乗り出す

紛糾を重ねた入山炭礦對玉川村の鑛毒問題は兩者互に主張を譲らず目下持久戦に入つた形であるが仙臺鑛山監督局では事の成行きを重大視して調停の勞を執るべく昨日玉村當局に照會して來つた由

# 自轉車泥

## 餘罪ある見込

當時住所不定茨城縣磯濱町字明神町生れ座古清太郎



天 今晩も明日も南西の風晴曇半す

今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
歌とピアノ、獨唱、高崎浪江ピアノ、菊地智恵子  
後六、二五 公民常識講座  
(四)農會 山内隆一  
後七、三〇 講演「外地米に就て」拓務政務 次官 堤康次郎

鵜沼水兵歸郷 平町八幡小路出身海軍水兵鵜沼時次郎君は今回滿期除團となり明日午後三時十七分着列車で歸郷する

(二十四)岡倉由三郎  
前七、二〇 聖典講義(五) 今井三郎  
前九、一〇 料理献立  
前一〇、三五 家庭講座  
後〇、〇五 和洋合奏 松竹管絃樂團  
後二、〇〇 家庭大學講座「日常生活と法律」八大審院 三宅正太郎  
後五、三五 講演 大日本消防協會 總裁梨本宮殿下「奉獻式に臨みて」秋田縣消防組頭 穂積孝平  
後六、〇〇 子供の時間

子供の新聞座談會  
後六、二五 基礎佛語講座(十六)丸山順太郎  
後七、三〇 講演「文化を生む人々とその社會的運命」大阪商大學長法學博士河田嗣郎  
後八、〇〇 ラヂオオペラ 幻の亂舞 大阪放送交響樂團  
後八、四〇 長唄 岸の柳 平田けい外  
後八、五五 落語「子別れ」三遊亭圓馬

# 元四倉築港書記に

## 懲役一年半を言渡

既報福島市生に元四倉築港書記金澤四郎(三)が築港事務所會計係に在職中虚偽の仕拂命令書を作り六百七十九圓及び金澤前所長振出し十圓の仕拂命令書を千十圓と改竄し千圓を騙取せる私文書偽造並に變造行使事件は昨日午前十一時より平區才判所に公判開廷清田檢事より懲役二年の求刑あり本日午前十時より中島才判長係り開口判事陪席清田檢事立會のもとに再開才判長より懲役一年半の言渡があつた

# 平職業紹介所報告

求人を求める方  
△商店雜役 尋卒 年七十圓—百圓位迄  
△女中 十七—三十才迄 給料面談  
△自動車修繕 二十才前後 尋卒 月五、六圓  
△道路修繕夫 二十一—三十才位 月十圓位  
△配達夫 十五—二十才 尋卒以上 給料面談  
△洋服工 十八才 高一修  
△事務員 二十七才 佑賢 卒

# 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

美味! 芳醇!

# 近新音頭

(警察戦上級及上級)

田邊南龍(作)  
山本英春(監)

四六一

「サア此品を掴みな、阿母も貴様が出来なかりやア貧乏するんぢやなかつたが、今に小平さんが改心するか何時までもあんなぢやアあるめえと思つて、とうとう今まで連添つて居て貧乏をしちまつたが、決して阿父さんに似ちやアなんねえぞ早く貴様が大きくなつて、從前の通りにならねえでも庵崎の家を立て、呉れ、阿父さんに似ねえで立派なお百姓になつて呉れよ」

と現在夫が後に居るとは知らず、幼さなき小吉に向つての間はず語りをして居るのを聞いて下を向いて涙を流して居た小平

「コレお昔……」  
「ハイ……誰かと思つたらお前小平さんか、何時の間に歸つて來なすつたんだ」  
「イヤお昔、面白ねえ、和女に逢へる義理ぢやアねえが面を被つて歸つて來た」  
「また何か家の物を持出さうと思つて歸つて來なすつたんだらう、何にもモウ家にやアねえ、みんなお前が持出してしまひなすつた、だかまだ家が残つてゐるか、この家を毀して、賣つちまう積りで來なすつた

んだらう、この家を賣つちまへば、わたしと小吉は首へ袋を掛けて乞食になるよ、外はねえ、和郎は夫が本望だらう、敵同志の集會でえのはこの事だ、立て、居

を賣らうと思つて來たんぢやアねえ和女が差して往つちやア不可ねえと云つた脇差の事について……」  
「那の先祖傳來の脇差を賣り拂つちまひなすつたんだらう、無帶刀で歸つて來なすつたが賣つちまつたと見える」  
「イヤ賣つたんぢやねえ、あの脇差をなくしたと云ふのは斯う云ふ譯だ、俺の親分の法華の長兵衛が幡隨院元締に喧嘩がしてえばかり



ねえで賣つちまわつし……シヤツ面から血なんぞを出して、喧嘩でもしなすつたんだらう、お組合の衆にでも見られては格好が悪い、早く此の家を賣つちまわつし」  
「イヤ決して俺は此處の

で、元締の元主人の息子が吉原へ遊びに來て居る其奴に喧嘩を吹き掛けたから、元締が飛んで來てその喧嘩を引受けて、兎に角若旦那が心配だと元締が自分が逃げぬを證據と刀を置いて其の息子を送つて行つた、

その預けて往つた刀を見るに實に結構な品で容易に買ふことが出来ねえ、御大名の差料にも減多にねえと云ふ品物だ、其處で親分の法華がその刀が欲しくなつて摺替るんだつて皆んなの刀を元締の鞘へ拵めて見たが何うしても合ふのがねえすると運悪く俺の持つて居たのが、丁度拵まつたんだから、不可ねえと云ふのに向ふへ渡して了つて、元締の法華が取つてしまやアがつたが其の喧嘩は山脇先生が仲人に這つて納まつて、無事に家に歸つて來たヌルト法華奴金子を五兩出して此金子で買つて代りを差せといふから五兩や七兩で買へる刀ぢやアねえ和郎さんの差料を呉れろと云つたが初まりで遂々俺のシヤツ面へ疵を付けられ、實にあの刀を取られちやア御先祖へも濟まねえ、其處で盆を返して花川戸を飛出して來たこれから幡隨院元締の所へ行つて譯を話す」

## 花柳病科 小兒科 内科 藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

### 看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

### 新車購入御披露

御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!!!本縣下の第一車が皆様  
の昭和へ入りましたニアクシヨ  
ン装置絶好の乗心地是非御試乗の程  
御願ひ致します。  
呼び良い電話三四〇番増設致し  
ました。

平驛前

昭和タクシー  
電話三四〇番  
三四三番

# おなじみの魚清

賣始めました。

どうぞ御用命を……

かばやき 五十錢  
うな重 五十錢  
うな井 三十五錢  
うな巻玉子 二十五錢(二人前)

◎多量御注文の際は御相談に應じます

平二警察署裏通り

## 魚清食堂部

電話六三三番

### 出前持至急入用

◎希望者ハ大至急來店アレ御委細面談優遇ス

### 外科全般

特ニ内臓外科及ビ内、外、兩域疾患

醫學博士 渡部 義夫

小兒科、内科 女醫 渡部 さい子

平町役場前 電話二七七番

## 渡部外科

入院應需

療午前八時ヨリ午後九時マデ